

学科等	リハビリテーション学科リハビリテーション心理学専攻
授業科目の区分1	専門分野
授業科目の区分2	リハビリテーション心理学
授業科目の区分3	

ID	
----	--

科目名	関係行政論 I						
授業区分	専門分野(リハビリテーション心理学)	選択必修		開講時期		単位数	1
授業コード				コマ数	15コマ		
担当教員	大矢 薫						
メールアドレス	<a href="mailto:ohya@nur05.onmicrosoft.com">ohya@nur05.onmicrosoft.com</a>						
オフィスアワー	12:40～13:30 (月～金、火除く)						

**【注意事項】**

《受講者に関わる情報・履修条件》

(全角280文字)

「公認心理師の職責」という科目を履修していると、本講義の内容の理解が深まります。  
※この科目は実務経験者対応科目である。

《受講のルールに関わる情報・予備知識》

(全角280文字)

毎回、プリントを配布します。  
講義を受けながら、もしくは講義後に空欄箇所を埋め、講義後はそのプリントを使って、一通り復習してください。  
講義中に関連する文献を紹介するので、購入もしくは図書館で借りるなどして読んでください。  
試験、小テストなどは原則として返却しません。  
小テストのフィードバック・解説を他に支障のない範囲で行います。

**【講義概要】**

《目的》

(全角280文字)

この科目は公認心理師養成のための必修科目である。以下の①～⑤を中心に、公認心理師として必要なトピックを理解する。  
①保健医療分野に関する制度、②福祉分野に関する制度、③教育分野に関する制度  
④司法・犯罪分野に関する制度、⑤産業・労働分野に関する制度  
当該科目と学位授与方針等との関連性；A-1, 2, R-1, 3

《方法》

(全角280文字)

毎回、プリントや資料を配布する。  
関係行政論の各トピックについて、具体例を挙げながら解説する。

**【一般教育目標(G10)】**

(全角280文字)

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野に関係のある法律、制度について理解する。

**【行動目標(SB0)】**

(全角280文字)

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野に関係のある法律、制度について概説できる。

**【教科書・リザーブドブック】**

(全角168文字)

毎回、プリントや資料を配布する。

**【参考書】**

(全角168文字)

元永拓郎 編 『関係行政論』 遠見書房 (2,600円＋税)  
金子和夫 監修 『心の専門家が会える法律』 誠信書房 (2,400円＋税)  
島井哲志 監修 『保健医療・福祉領域で働く心理職のための法律と倫理』 ナカニシヤ出版 (3,200＋税)

**【評価に関わる情報】**

《評価の基準・方法》

(全角280文字)

成績評価基準は、本学学則規程のGPA制度に従う。  
小テストと定期試験を実施する。  
出席点は評価に含まれません。

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポート フォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		40	60						100
評価 指標	取り込む力・知識	30	30						60
	思考・推論・創造の力	10	30						40
	コラボレーションとリーダーシップ								0
	発表力								0
	学修に取り組む姿勢								0

【授業日程と内容】

回数 (全角20 文字)	講義内容 (全角110文字)	授業の運営方法 (講義・演習、教 員、教室など) (全角35文字)	学修課題(予習・復習) (全角80文字)	時間 (分) (全角20 文字)
1-2	イントロダクション 関係行政論とは？	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
3-4	保健医療分野に関する制度①	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
5-6	保健医療分野に関する制度②	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
7-8	保健医療分野に関する制度③	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
9-10	福祉分野に関する制度①	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
11-12	福祉分野に関する制度②	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
13-14	福祉分野に関する制度③	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
15	まとめ	講義	今までの講義プリント、資料の復習	120分



